



若葉の成長はとても早く、木々の緑が色濃く茂って初夏の暑さを感じる陽気となってきました。東日本大震災から7年の時の流れと被災地の「今」に思いを馳せつつ「ひとりの小さな手 通信27号」をお届けします。

2011年の4月に小学校6年生に進級した子どもたちが、この春、高校を卒業しそれぞれの道へ大人としての一步を踏み出しました。3月にテレビで放映されていたドキュメンタリー番組では、津波と原発事故で大きな被害を受けた相馬市の子どもたちが、それぞれの思いを語っていました。大切な家族や友人を津波で失った悲しみと向き合いながら自分の生き方を問い続けてきた子、家を失い遠く離れた土地へ避難を余儀なくされた友人との心のつながりを支えに頑張ってきた子、見えない放射能の影響と戦いながら田畑を守る父親の姿に自分も故郷の自然を守りたいと強く願う子……置かれている状況もこれから進んで行く道もそれぞれに違うけれども、中学生高校生という多感な時期を被災地と呼ばれる場所で深い悲しみを抱えながら歩んできた子どもたちが「震災があったから強くなれた。」「震災があったからこそ得られたものもある。これからの自分の人生に活かしていきたい。」と語る言葉には、逞しさと共に彼らが描く未来への希望が感じられました。

政府や自治体が目指す「復興」という言葉の先に人々の安らぎと笑顔がありますようにと願いつつ、私たちも被災地に心を寄せて祈り、日々できることを考え動いていかなければならないと強く思います。一人ひとりの小さな手で何ができるかを皆で考え、心をこめた小さな支援を続けていきたいと思っています。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

◇活動報告

○ 2018年2月12日

手作りバレンタインチョコレートを
南相馬 聖愛保育園こども園、みやぎ心のケアセンター(気仙沼)へ

○ 2018年3月11日(日)

第17回 東日本大震災支援チャリティーコンサート開催

東日本大震災からちょうど7年目の3月11日、ジャズピアニストの高田ひろ子さん、ソプラノの野本爽生さんと野本香矢子さん、コカリナサークルたまゆら&ひだまりの皆さんを迎え、第17回のチャリティーコンサートが開かれました。

7年前に「ひとりの小さな手」の活動を始める原点となった『エール』も演奏され、これからも心からのエールを送り続けたいという思いを新たにさせていただきました。幼稚園の卒園生や保護者、保護者OGによる温かい演奏に包まれ、多くの方々と共に被災地に心を寄せて祈る時を持てましたことに心より感謝を申し上げます。手作りケーキのバザー、そして教会のシャロン会の方たちによる手作り手芸品のバザーもとても盛況でした。

コンサート、バザーへのお力添えをいただき、ありがとうございました。



たまゆらの皆さん



高田ひろ子さん



大迫光希子さん



野本香矢子さん



野本爽生さん



チケット代	66,000円	手芸品バザー	63,900円
ケーキバザー	30,000円	香り募金	19,850円

出演者交通費などの経費を除くチケット代とバザー売上げは、次の通り被災地に送らせていただきました。残金につきましては、突発的な自然災害への支援など今後の活動のために使わせていただきます。

- 南相馬 聖愛保育園こども園へ 20,000円
- 日本赤十字社神奈川支部 〈熊本地震から2年を覚えて〉 50,000円
- 震災支援音楽プロジェクトへ 30,000円
- 被災地の子どもたちに学びの場を〈カタリバ〉 50,000円



(2)コカリナ通信 第59号

2018.4.10



被災地支援 18回チャリティーコンサートを終えて

横浜市野毛山幼稚園 奈良 亜樹子

していただきました。プロのミュージシャンの方々、ホームページでこの活動を知った卒園生や全く面識のない方までもコンサートに出演してくださったのです。現在は3月11日付近の日曜日、秋頃の日曜日と年2回のコンサートを開催しています。被災地ではまだまだ大変な生活をされておられます。「いつも忘れていてくれてありがとう」とお手紙をいただき、忘れられてしまうことが一番つらいと言われます。

今回で18回目になるコンサート、3月11日にあたるということで、7年前を忘れず、エールを送り続けようという気持ちで、7年前に演奏した曲を組み入れて構成しました。

被災地へのお祈りから始まり、アメイジンググレース、Yell…と続き、コカリナの優しい音色が礼拝堂を包みしました。エンディングはさんぽ。子どもたちも元気に大合唱。心温まるコンサートとなりました。会場入口には懐かしい応援メッセージの映像。あの時小学生の子が大学生です。今回のコンサートには、懐かしい方たちも集まりました。

これからも音楽を通して、また様々のことを通して被災地にエールを送り続けていきたいと思ひます。

2018年3月11日 東日本大震災から7年。日本各地で同じ思いでチャリティーイベントが開催されたことと思ひます。私たちが横浜野毛山の地でチャリティーコンサートを開催いたしました。7年前、大震災から10日ほどたった頃、被災地の被害の大きさに呆然とし、何かしたい、私たちにできることは何かを考えつつも、動くことができずにいたところに、黒坂さんから、被災地に応援メッセージを送りませんかというお声をかけていただき、コカリナの演奏と子どもたちの笑顔を届ける…そのメッセージを作成しました。そして私たちひとりの力は小さいけれども、みんなの心を合わせ、できることをやっいていこうと「ひとりの小さな手プロジェクト」を立ち上げて活動してきました。なるべく、顔を合わせることができるところへの支援を続けてきました。

チャリティーコンサートは今回で18回を迎えましたが黒坂さん、周美さんはじめ、その間、実に多くの方々が出演

コカリナ通信に掲載されました…

◇今後の予定

○第19回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート
2018年9月23日(日)13時開場 13時30分開演
出演 Handbell Company 一音
Handbell Ensemble YD

コンサートの詳細は、別紙のフライヤーやHPをご覧ください。
たくさんの方のご来場をお待ちしております。



発行 2018年5月9日
ひとりの小さな手プロジェクト
事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地
野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園
根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子